

## 令和5年度昭島市障害者地域支援協議会（専門部会）の取組目標について

専門部会名称	こども支援部会			部会 委員数	9人
部会目標	障害のある子ども達とその保護者への支援				
部会長 副部会長	部会長名	宮寄 明美			
	副部会長名	森川 昌子			
主な部会 構成員	保護者、相談支援事業所職員、ヘルパー事業所職員、スクールソーシャルワーカー、社会福祉協議会職員、サポートスクール職員				
令和5年度 取組目標	障害のある子ども達とその保護者のニーズに寄り添い、人権が尊重され、安心安全な生活の中で、持てる可能性を十分に伸ばすことができる支援の在り方を考える				
令和5年度取組目標の達成に向けた方法や活動内容等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害の特性に配慮したワクチン接種のため担当課と意見交換</li> <li>2. 放デイ連絡会を定期的で開催し、交流や情報交換などの場を設けていく</li> <li>3. 教育福祉総合センターの相談窓口の現状把握をする</li> <li>4. 障害のある子どもの保育園の受け入れ状況、加配について状況把握するため担当課と意見交換</li> </ol>				
開催日程 ・内容	4月	定例会	10月	第3回放デイ連絡会の準備	
	5月	定例会、第2回放デイ連絡会	11月	第3回放デイ連絡会 教育福祉総合センターとの意見交換(相談支援部会と合同)	
	6月		12月	保育園の担当課と意見交換	
	7月	定例会	1月	定例会	
	8月	定例会	2月	第4回放デイ連絡会	
	9月	ワクチン接種のため担当課と意見交換、定例会	3月	今年度の振り返りおよび来年度の取り組みについて	
全体会での協議予定事項				協議 予定時期	
備考					

専門部会名称	当事者部会		部会 委員数	8人
部会目標	障害者の社会完全参加と差別のない社会をめざす			
部会長 副部会長	部会長名	三原 恭明（昭島市聴覚障害者協会）		
	副部会長名	宮寄 明美（支援を必要とする子の親の会）		
主な部会 構成員	障害当事者団体、障害者(児)の親の会、相談支援事業所、障害者支援団体			
令和5年度 取組目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害者が暮らしやすい昭島をめざし、障害者差別解消の推進を図る。</li> <li>2. すべての障害者が参画できる企画および環境づくりをする。</li> <li>3. 障害者の視点による権利および権利擁護の意識を高める。</li> <li>4. 障害者の日常生活の質向上（QOL）を図る</li> <li>5. 第6期障害福祉計画履行を求め、進捗状況を確認する。</li> <li>6. 障害者・健常者相互の理解を深めるために必要なことを模索し実施する。</li> </ol>			
令和5年度取 組目標の達成 に向けた方法 や活動内容等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害者の生活の質向上（QOL）を図るために必要な活動を行う。</li> <li>2. 障害者同士の理解と意思疎通を深め、全障害者が参画できる部会をめざす。</li> <li>3. 障害者の視点から権利と権利擁護についての学習を行う。</li> <li>4. 障害者・健常者相互に理解を深めるための活動を行う。</li> <li>5. 障害者交流の場設定の活動を行う。</li> </ol>			
開催日程 ・内容	4月	定例活動（第1回部会議）	10月	定例活動・障害福祉課懇談会
	5月	定例活動（第2回部会議）	11月	定例活動
	6月	定例活動（第3回部会議）	12月	定例活動
	7月	定例活動（第4回部会議）	1月	定例活動
	8月	定例活動	2月	定例活動・市長懇談会
	9月	定例活動・部内学習会	3月	定例活動
全体会での 協議予定事項			協 議 予定時期	
備 考				

専門部会名称	相談支援部会		部会 委員数	22人
部会目標	部会で抽出した課題の解決に向け、具体策を他専門部会と連携して地域支援協議会に提案する。			
部会長 副部会長	部会長名	渡辺 おりえ		
	副部会長名	今泉 寛、宮越 康子		
主な部会 構成員	昭島市障害者福祉課、相談支援事業所、地域包括支援センター、昭島市社会福祉協議会、たかつきクリニック			
令和5年度 取組目標	① 地域課題解決への具体策の検討 ② 障害児の支援について学習をすすめ、支援チームの中の相談支援事業者の立ち位置や他機関との連携について検討する。 ③ 委員で決めたテーマ「意思決定支援」について学習会をする。 ④ 事例検討や様々な学習を通して、昭島市にあったらよい基幹相談支援センターの機能を導きだす。			
令和5年度取組目標の達成に向けた方法や活動内容等	① 事例検討会を開催し地域の課題抽出、整理を行う。 ② 障害児の相談については、子供発達プラザホエールの説明、事例学習、教育相談の説明会を行う。 ③ 意思決定支援については、事例学習、講師を招いた学習会を行う。			
開催日程 ・内容	4月		10月	相談支援部会 事例検討
	5月	相談支援部会 今年度の方針・部会員紹介	11月	相談支援部会 学習会
	6月	相談支援部会 事例検討	12月	相談支援部会 事例検討
	7月	相談支援部会 事例検討	1月	相談支援部会 学習会
	8月		2月	相談支援部会 事例検討
	9月	相談支援部会 学習会	3月	相談支援部会 今年度のまとめ・来年度体制
全体会での 協議予定事項			協 議 予定時期	
備 考	1月の学習会で講師謝礼が必要です。			

専門部会名称	自立生活支援部会			部会 委員数	20人
部会目標	障害のあるすべての人のニーズに寄り添って、その人らしい地域生活が実現できるように、ライフステージに沿ってトータル的に生活支援の充実を図ることを目的とする				
部会長 副部会長	部会長名	加藤 治男(社会福祉法人滝乃川学園グループホームベアーの家)			
	副部会長名	祝 和子(社会福祉法人きょうされんリサイクル洗びんセンター)			
主な部会 構成員	ホームヘルパー・介護支援専門員・生活介護事業所支援員・グループホーム世話人・短期入所事業所支援員・医療相談員・包括支援センター相談員・昭島市社会福祉協議会職員・地域活動支援センター相談員・昭島市障害者相談支援センター相談員・特別支援学校教諭				
令和5年度 取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉事業所の人材確保</li> <li>・昭島市移動支援事業の報酬の改定(基本報酬の増額・早朝と夜間の加算)及び要綱の改正(身体障害がある方を対象とする)</li> <li>・知的障害がある方の余暇活動の支援</li> <li>・地域生活支援拠点の整備と基幹相談支援センター設置</li> <li>・新型コロナウイルスの情報共有</li> <li>・障害者の高齢化について考える。</li> </ul>				
令和5年度取組目標の達成に向けた方法や活動内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援協議会全体会のプロジェクト等の活動に引き続き参加する。</li> <li>・移動支援事業の状況を確認検討、必要なことを市にたいして要望する。</li> <li>・知的障害がある方の余暇活動支援をどのような形で実現できるか検討する。</li> <li>・地域生活支援拠点等の整備と基幹相談支援センター設置のしかたを考える。</li> <li>・新型コロナウイルスのワクチンやPCR検査について必要なことを検討する。</li> <li>・高齢分野の専門員から状況を確認する。</li> </ul>				
開催日程 ・内容	4月		10月		
	5月		11月	コア会議	
	6月	コア会議(6月1日)	12月	第3回部会全体会	
	7月	第1回部会全体会(7月11日)	1月		
	8月	コア会議	2月	コア会議	
	9月	第2回部会全体会	3月	第4回部会全体会	
全体会での協議予定事項				協議 予定時期	
備考					

専門部会名称	防災部会		部会委員数	12人
部会目標	昭島市から死者を出さない			
部会長 副部会長	部会長名	吉澤 孝行(自立生活センター・昭島)		
	副部会長名	西川 澄(昭島市視覚障害者協会)		
主な部会 構成員	昭島市内当事者・家族、相談事業所、自治会連合会、民生委員会 昭島消防署、昭島市防災課・福祉総務課・障害福祉課等			
令和5年 取組目標	昭島市から死者を出さない			
令和5年取組目 標の達成に向け た方法や活動内 容等	①総合防災訓練の参加 11月 場所 未定 ②学校避難所運営委員会へ当事者・家族・事業所の参画と情報共有 ③昭島市避難行動要支援者避難プランと個別避難計画について ④福祉避難所の位置づけと運営方法について			
開催日程 ・内容	4月	2023年度活動内容の検討		
	6月	前年度活動報告の検討 昭島市避難行動要支援者避難プランと個別支援計画について 災害時情報伝達一斉配信システムについて 市民総合交流拠点施設の整備について		
	8月	東京都地域防災計画震災編と昭島市地域防災計画の見直しについて 学校避難所運営委員会へ当事者・家族・事業所の参画と情報共有		
	10月	総合防災訓練について 福祉避難所の市の考え方について		
	11月	総合防災訓練に参加		
	12月	総合防災の振り返り 昭島市地域防災計画の見直しについて 学校避難所運営委員会へ当事者・家族・事業所の参画と情報共有		
	2月	学校避難所運営委員会全体会 学校避難所運営委員会へ当事者・家族・事業所の参画と情報共有		
全体会での 協議予定事項	福祉避難所の設置と運営について		協議予定時期	
備 考	残された課題 要支援者名簿と要支援者全体計画・個別支援計画の作成の均一化 在宅避難者への施策・集団生活に不向きな方への配慮 公的施設・民間施設の活用(ホテル・旅館、公的宿泊施設等) アフターコロナの避難行動の変化			

専門部会名称	就労支援部会		部会 委員数	9人
部会目標	障害者雇用の促進			
部会長 副部会長	部会長名	長谷川 京子 (特定非営利活動法人チャレンジドステーションクジラ)		
	副部会長名	日向 弘樹 (ゆいのもり福祉協議会)		
主な部会 構成員	チャレンジドステーションクジラ、社会福祉法人きょうされん、 社会福祉法人あすはの会 あいあい、ゆいのもり福祉協会職員、 高月クリニック地域連携室、あきる野学園教諭、青峰学園教諭等			
令和5年度 取組目標	1. 市内商工会との連携を図る。 2. 市役所内実習についての要綱について確認し、今後の機会の拡大を図る。			
令和5年度取 組目標の達成 に向けた方法 や活動内容等	1. 市内事業所へ障害者雇用の啓発のためのパンフレットの配布ができるよう 検討を進める。 2. 市役所実習具体的内容を検証し、実施の在り方を協議していく。 3. 市内の障害者求人などの情報共有を図る。			
開催日程 ・内容	4月		10月	
	5月		11月	第2回部会
	6月		12月	
	7月	第1回部会	1月	
	8月		2月	第3回部会
	9月		3月	
全体会での 協議予定事項			協 議 予定時期	
備 考				